

# 砂庭神楽団上演

## 「八岐大蛇」

2014年11月16日(日)17:30～



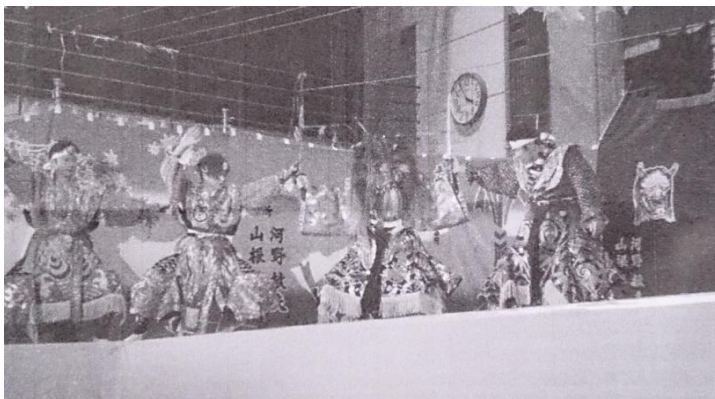
さにわ

**砂庭神楽団(所在地: 広島県山県郡北広島町壬生)**

由来: 江戸後期より、壬生神社若連中が中心に納めるようになったのが始まりで、砂庭神楽団とは、「砂庭＝八百万(やおよろず)の神が舞い立たれるのにふさわしく、清らかで砂を蒔いた庭のように美しい場所という意味で、神楽団がこの地において、いつまでも人々の心を満たす」ことを願って命名されたと云われています。

### 演目: 八岐大蛇(ヤマタノオロチ)

高天原(たかまがはら)を追われた素戔嗚尊(すさのおのみこと)がたまたま出雲の国・斐(ひ)の川上を通りかかった時、嘆き悲しんでいる足名椎(あしなづち)・手名椎(てなづち)という老夫婦とその娘・奇稻田姫(くしいなだひめ)に出会う。訳を聞けば、もともと老夫婦の娘は八人いたが、年に一度八岐大蛇がやって来ては娘を食べてしまう、今年もまたその時期が近づき最後に残った末娘の奇稻田姫も食べられてしまうので嘆いていたという。素戔嗚尊は姫との結婚を条件に大蛇退治を申し出ると、老夫婦は承諾した。そして素戔嗚尊は大蛇退治を決意すると、たなびくむらくもに乗って現れた大蛇に樽酒を飲ませ酔い伏して眠った大蛇を大格闘の末退治する。この時大蛇の尾から出てきた一振りの剣を天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)と名付けて天照大神(あまてらすおみかみ)に捧げ、めでたく姫と結婚する物語。



|     |       |
|-----|-------|
| 大太鼓 | 敷田 隆則 |
| 小太鼓 | 山形 直之 |
| 手打鉦 | 前川 憲人 |
| 笛   | 高田 賢造 |

|      |        |
|------|--------|
| 素戔嗚尊 | 中金名 宏史 |
| 足名椎  | 花ノ木 亮二 |
| 手名椎  | 丸岡 忠史  |
| 姫    | 河原 真   |

|    |       |
|----|-------|
| 大蛇 | 小田 隼人 |
|    | 藤本 隆仁 |
|    | 竹本 輝  |
|    | 三宅 勝也 |
|    | 橋本 信利 |
|    | 小田 和成 |

※体育館内での食事・飲酒はご遠慮ください。  
※上演中のビデオ・カメラ等の撮影はお断りします。

上演終了後、ふれあい撮影会を行います。